

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Dendritic cells that endocytosed antigen-containing IgG-liposomes elicit effective anti-tumor immunity	共著	平成 18 年 3 月	Journal of Immunotherapy Vol.29, No.2 pp.165～174 International Society for Biological Therapy of Cancer	癌免疫療法に用いる抗原担体として、IgG を表面に結合したリポソームを調製した。このリポソームを用いることで、樹状細胞の Fc γ 受容体を介して、効果的な Class II 抗原提示ができることを明らかにした。また、高い癌免疫を引き起こすことによる癌の縮小が認められた。(10 頁) (川村和子、門脇則光、鈴木亮、宇田川悟史、笠岡敏、宇都口直樹、北脇年雄、杉本央) 担当部分:癌免疫を目的とした IgG-結合型 DC 標的リポソームの開発、DC 標的型 IgG リポソームの調製。(担当頁特定不可能)
2 (学術論文) The potential of transferrin-pendant-type polyethyleneglycol liposomes encapsulating decahydrodecaborate-(10)B (GB-10) as (10)B-carriers for boron neutron capture therapy.	共著	平成 18 年 12 月	International Journal of Radiation Oncology Biology Physics Vol.66, No.5 pp.1515～1522 Elsevier	GB-10 を封入した TF 結合型 PEG-リポソームを調製し、体内動態及び、BNCT 効果を検討した。GB-10 と TF-リポソームの組み合わせは、高いホウ素の血中滞留性、癌指向能を有し、BNCT において有用な手段であることが明らかとなった。(8 頁) (増永慎一郎、笠岡敏、丸山一雄、Nigg D、櫻井良憲、永田憲司、鈴木実、木梨友子、丸橋晃、小野公二) 担当部分:GB-10 を封入した TF-リポソームによる BNCT の検討、GB-10 封入リポソームの調製と物性評価。(担当頁特定不可能)
3 (学術論文) Tumor-specific targeting of sodium borocaptate (BSH) to malignant glioma by transferrin-PEG liposomes: a modality for boron neutron capture therapy.	共著	平成 20 年 1 月	Journal of Neurooncology Vol.87, No.3 pp.287-294 Springer	BSH 封入 TF 結合型 PEG-リポソームを調製し、体内動態及び、脳腫瘍における BNCT 効果を検討した。TF 結合型 PEG-リポソームは、高いホウ素の血中滞留性、癌指向能を有し、脳腫瘍 BNCT において有用な手段であることが明らかとなった。(8 頁) (土居温、川端信司、飯田恭子、横山 邦生、梶本宜永、黒岩敏彦、白川 貴詩、切畑 光統、笠岡敏、丸山一雄、熊田博明、櫻井良憲、増永慎一郎、小野公二、宮武伸一) 担当部分:BSH 封入 TF-リポソームの調製と物性評価。(担当頁特定不可能)
4 (学術論文) The antitumor effect of liposome-encapsulated cisplatin on rat osteosarcoma and its enhancement by caffeine.	共著	平成 20 年 5 月	Anticancer research Vol.28 pp.1449-1458 J.G. Delinassios, Anticancer Research	シスプラチンを封入したリポソームを用い、カフェインとの併用療法を行うことで、効果的な癌治療法の確立を検討した。シスプラチンを封入した PEG-リポソームを新規に調製し、カフェインを併用するプロトコルを用いて、高い抗腫瘍効果を得られた。(9 頁) (荻田充明、土屋弘行、河原昌美、笠岡敏、富田勝郎) 担当部分:シスプラチン封入 PEG-リポソームの調製と物性評価。(担当頁特定不可能)
5 (口頭発表) Bradykinin B1 受容体選択的ペプチド結合型リポソームによる BBB 透過性 BNCT の開発	共著	平成 21 年 9 月	第六回中性子捕捉療法学会	ブラジキニン B1 受容体選択的ペプチドとラミニン様ペプチドの二種のペプチドを有す PEG-リポソームを調製した。再構築 BBB モデルによる BBB 透過及び、腫瘍内在化について、新規リポソームは高い能力が認められた。 (笠岡 敏、中西莉沙、吉川広之) 担当部分:研究全般